

令和4年度 出雲農林高校 第2学期 始業式

8月29日（月）本日の始業式・表彰式は、新型コロナウイルス感染症と熱中症対策としてリモートで行う形式としました。

始業式、表彰式に続き、部活動の制限について、生徒指導部長から話がありました。



全校生徒は各教室にて、式は図書館からの映像と音声で進行します

令和4年度第2学期始業式 あいさつ

酷暑と新型コロナウイルス感染拡大がある中の長期休業を終え、こうして2学期の始業式を迎えられることを皆さんと共に喜びたいと思います。教室で久しぶりに顔を合わせ、元気な姿を互いに確認し合う嬉しさと、「さあ、新たな学期に向けて頑張ろう」と気持ちを高ぶらせながらの時間は、実に楽しく充実したものであると3階の図書館にもその雰囲気が伝わってきます。明るい笑い声と懸命なおしゃべりがあることでしょう。

今年の夏季休業中の皆さんの活躍は、特に素晴らしかったと思います。一つ目に、全校で中国5県のクラブ員をお迎えした、「農業クラブ中国ブロック大会」があります。農業クラブ役員を中心に生徒会、家庭クラブ、放送部、茶道部の人たちがスタッフを務めてくれました。こうした大きな大会の実施経験が少ない中、リハーサルでの確認や当日の堂々として丁寧な対応は、近くで見ていると本当に格好良く、素敵なふるまいでした。そして、同じように聴衆として参加してくれた、全校の皆さんの発表を聞く態度がこれまた素晴らしく、その様子を審査員の先生方やこの大会の後開催された、中国・四国農業校長会でも同様に「聴いてくれた生徒の皆さんの態度が本当に良かったです。会場の雰囲気がピリッとしていました。」と褒めていただきました。

二つ目にインターハイでの活躍があります。特にカヌー部のカヤックペアでインターハイ2連覇した植物科学科3年三島さん、動物科学科3年橋本さん本当におめでとうございます。教育長様や県知事様に優勝の報告をしましたので、報道から様子を見た人もたくさんいると思います。現在、ハンガリーの国際大会に出場しています。2人の他にも出場した全ての種目で入賞しています。ウエイト部も出場し、好記録を出していますし、動物科学科3年井谷桐子さんは、2つの全国大会で入賞しています。

三つ目に吹奏楽部の県コンクールでの金賞受賞です。創部以来、初の快挙です。「小編成の部」への出場校が多くなる中で、伝統校に引けを取らない心のこもった演奏は、聴く人に感動を与えたと思います。部員の皆さん、本当に素晴らしかったです。この他にも、太鼓部の総文祭での演奏、体験入学でのアシスタントや野菜やブドウなどの販売実習、毎日の栽培及び飼育管理、運動部・文化部での練習など紹介しきれないほどの積極的な活動がありました。それぞれ高い評価や多くの成果を確認することができるのは、生徒の皆さんの普段の努力の賜であると同時に、先生方の熱心なご指導と周到な準備や打合せがあったものと思います。心から感謝いたします。ありがとうございました。

さて、本日からの2学期に目標として欲しいことを2点お話しします。

1点目に今年度の教育目標スローガンにしている「自己表現と挑戦」です。それぞれの得意な表現方法を見つけ、それに磨きをかけることです。見る人や読む人、聴く人にとって「もっと分かりやすく、もっとイメージしやすい」言葉や文章、表情、発音、内容などを探究してください。そして、新たなことへの挑戦です。1学期から資格取得に取り組んでいる人もいます。意欲的な挑戦から、新たな自分のセールスポイントを身に付けて欲しいと思います。

2点目に新しい経験を大切にしたいことです。新しい経験とは、学習活動では、校外での視察研修やインターンシップ、部活動では新チームでの大会や競技会、演奏会への参加などがあります。事前の準備や練習をしっかり行い、それぞれの場で求められる技術や能力、コミュニケーション力そして、新しいモノの見方や感じ方など体験の中から気付いて欲しいと思います。そして、この気付きや発見は次のステージに向かう、頑張ろうとする意欲に繋がり、成長を促進するものと思います。

最後に先生の異動についてお話しします。植物科学科の板倉先生ですが、体調を崩され4月よりお休みでした。この度、都合により退職されることとなりました。「生徒の皆さん、先生方には大変お世話になりました。出雲農林高校の更なる発展を願っています」というコメントをいただいていますので、ご紹介しました。

1年の中で最も忙しい、でも充実感のある2学期が始まります。3年生は、進路実現に向けて総仕上げです。自分で決めた進路に向けて真正面から向き合い、この時期にしか味わえない達成感に浸りましょう。

皆さんの健康と活躍を祈念して2学期始業式のあいさつとします。

出雲農林高等学校 校長 山根 登